



# Sonogonic



## SHS-500 取扱説明書

ご使用前に必ず5～9ページの  
「安全上のご注意」をお読みください。



このたびは、ヤマハ製品をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。  
この楽器はショルダーキーボードです。そのまま弾いて楽しむことはもちろん、スマートデバイスのアプリ Chord Trackerと接続すると、好きな曲に合わせて演奏できます。  
この楽器に搭載された機能を十分に活かし、演奏をお楽しみいただくため、本書をよくお読みになってからご使用ください。また、お読みになったあとも、いつでもご覧になれるところに大切に保管していただきますようお願いいたします。

## 取扱説明書について

この楽器には、以下の説明書が用意されています。



### 取扱説明書(本書)

製品の取り扱いや操作方法などを簡単に説明しています。

より詳しい説明については、ヤマハのウェブサイトの電子マニュアル「リファレンスマニュアル」をご覧ください。



### リファレンスマニュアル(電子マニュアル)

楽器の詳細設定について説明しています。

電子マニュアル(PDF形式)は、ヤマハのウェブサイトからご覧いただけます。以下のウェブサイトです。「取扱説明書」をクリックし、モデル名を入力して検索してください。

## サポート・お問い合わせ

<https://jp.yamaha.com/support/>

## 付属品(お確かめください)

- |                |    |
|----------------|----|
| ・ 取扱説明書(本書)    | ×1 |
| ・ 保証書          | ×1 |
| ・ 電源アダプター      | ×1 |
| ・ ストラップ        | ×1 |
| ・ MIDI変換ケーブル   | ×1 |
| ・ 製品ユーザー登録のご案内 | ×1 |

# もくじ

特長.....	4
各部のおもなはたらき .....	12
ご使用前の準備.....	16
いろいろな音で演奏しよう .....	21
JAM機能を楽しもう .....	23
バックアップと初期化(イニシャライズ).....	32
困ったときは .....	33
仕様一覧 .....	34
索引.....	36
アフターサービス.....	39

# 特長

## 1. パフォーマンスに没頭しよう .....23ページ

JAM機能を使えば好きな曲に合わせてすぐにパフォーマンスを楽しめます。

無償アプリChord Trackerと楽器を接続すれば、スマートデバイス内の曲に合わせて演奏できます。

※対応スマートデバイスに関してはヤマハホームページでご確認ください。

適当に弾くだけで曲に合う音になるため、手元を気にする必要はありません。

お気に入りのアーティストとセッションしているかのように、思い切りパフォーマンスに没頭できます。

## 2. 本格的な演奏が可能なインターフェース..... 15、22ページ

ピッチバンドホイールやモジュレーションホイールに加え、多彩なエフェクトをコントロールできるノブを搭載。

演奏に表情を付け、オリジナリティ溢れるパフォーマンスを楽しむことができます。

## 3. スリム&超軽量ボディ

本体重量1.5 kgの超軽量ボディ&スリムな形状でどこでも好きな場所に持ち運べます。

電池駆動にも対応していますので、場所を選ばず演奏をお楽しみいただけます。

# 安全上のご注意

ご使用前に、必ずこの「安全上のご注意」をよくお読みください。

ここに示した注意事項は、製品を安全に正しくご使用いただき、お客様やほかの方々への危害や財産への損害を未然に防止するためのものです。必ずお守りください。

お子様がご使用になる場合は、保護者の方が以下の内容をお子様にご徹底くださいますようお願いいたします。

お読みになったあとは、使用される方がいつでも見られる所に必ず保管してください。


## 記号表示について


この製品や取扱説明書に表示されている記号には、次のような意味があります。

	「ご注意ください」という注意喚起を示します。
	～しないでくださいという「禁止」を示します。
	「必ず実行」してくださいという強制を示します。

## 「警告」と「注意」について

以下、誤った取り扱いをすると生じることが想定される内容を、危害や損害の大きさや切迫の程度を明示するために、「警告」と「注意」に区分して掲載しています。

 <b>警告</b>	この表示の欄は、「死亡する可能性または重傷を負う可能性が想定される」内容です。
--	---

 <b>注意</b>	この表示の欄は、「傷害を負う可能性または物的損害が発生する可能性が想定される」内容です。
--	--

## 電源アダプターについて

### 警告



禁止

ヤマハ製電子楽器以外に使用しない。  
電源アダプターは、ヤマハ製電子楽器専用です。他の用途には、ご使用にならないでください。故障、発熱、火災などの原因になります。



禁止

電源アダプターは、室内専用のため屋外および水滴のかかる環境では、使用しない。また、水の入った物、花瓶などを機器の上に置かない。  
内部に水などの液体が入ると、感電や火災、または故障の原因になります。

### 注意



必ず実行

製品は電源コンセントの近くに設置する。  
電源プラグに容易に手が届く位置に設置し、異常を感じた場合にはすぐに製品の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。また、電源スイッチを切った状態でも微電流が流れています。この製品を長時間使用しないときは、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。

## 楽器本体について

### 警告

## 電源/電源アダプター



禁止

電源コードをストーブなどの熱器具に近づけたり、無理に曲げたり、傷つけたりしない。また、電源コードに重いものをのせない。

電源コードが破損し、感電や火災の原因になります。



必ず実行

電源は必ず交流100Vを使用する。  
エアコンの電源など交流200Vのものがあります。誤って接続すると、感電や火災のおそれがあります。



必ず実行

電源アダプターは、必ず指定のもの(35ページ)を使用する。  
異なった電源アダプターを使用すると、故障、発熱、火災などの原因になります。



必ず実行

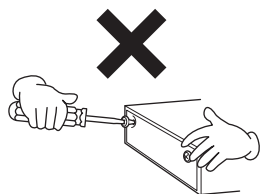
電源プラグにほこりが付着している場合は、ほこりをきれいに拭き取る。  
感電やショートのおそれがあります。

## 分解禁止



禁止

この製品の内部を開けたり、内部の部品を分解したり改造したりしない。  
感電や火災、けが、または故障の原因になります。



## 設置



禁止

医療機器の近くで使わない。  
電波が医療用電気機器に影響を与えるおそれがあります。電波の使用が制限された区域では使わないでください。



必ず実行

心臓ペースメーカーの装着部位から15cm以上離して使用する。  
本機から発生する電波によりペースメーカーの動作に影響を与えるおそれがあります。

## 水に注意



禁止

本体の上に花瓶や薬品など液体の入ったものを置かない。また、浴室や雨天時の屋外など湿気の多いところで使用しない。

内部に水などの液体が入ると、感電や火災、または故障の原因になります。入った場合は、すぐに電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いた上で、お買い上げの販売店または巻末のヤマハ修理ご相談センターに点検をご依頼ください。



禁止

ぬれた手で電源プラグを抜き差ししない。  
感電のおそれがあります。

## 火に注意



禁止

本体の上にもろうそくなど火気のあるものを置かない。  
ろうそくなどが倒れたりして、火災の原因になります。

## 電池



禁止

電池を分解しない。  
電池の中のものに触れたり目に入ったりすると、化学やけどや失明のおそれがあります。



禁止

電池を火の中に入れない。  
破裂するおそれがあります。



禁止

使い切りタイプの電池は、充電しない。  
充電すると液漏れや破裂の原因になります。



禁止

電池を金属製のネックレスやヘアピン、コイン、鍵などと一緒に持ち運んだり、保管しない。  
電池がショートし、発熱、破裂、火災のおそれがあります。



**指定(35ページ)以外の電池を使用しない。**  
火災、発熱、液漏れの原因になります。

禁止



必ず実行

**複数の電池を使う場合、同じメーカーの同じ種類、同じ品番の新しい電池を使用する。**

種類やメーカー、品番の異なる電池を一緒に使用したり、新しい電池と古い電池を一緒に使うと、火災、発熱、液漏れの原因になります。



必ず実行

**電池はすべて+/-の極性表示どおりに正しく入れる。**

正しく入れていない場合、発熱、火災、液漏れのおそれがあります。



必ず実行

**長時間使用しない場合や電池を使い切った場合は、電池を本体から抜いておく。**

電池が消耗し、電池から液漏れが発生し、本体を損傷するおそれがあります。



必ず実行

**充電式ニッケル水素電池を使用する場合は、電池の取扱説明書の指示に従う。**

電池に付属の取扱説明書をよく読んで、正しくご使用ください。また、充電機の充電は、必ず専用の充電器をご使用ください。専用器以外を使用すると、電池が発熱、液漏れ、破裂するおそれがあります。



禁止

**電池は子供の手の届くところに置かない。**

お子様が誤って飲み込むおそれがあります。また、電池の液漏れなどにより炎症を起こすおそれがあります。



禁止

**電池が液漏れした場合は、漏れた液に触れない。**

失明や化学やけどなどのおそれがあります。万一液が目や口に入ったり皮膚についたりした場合は、すぐに水で洗い流し、医師にご相談ください。

## 異常に気づいたら



必ず実行

下記のような異常が発生した場合、すぐに電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜く。(電池を使用している場合は、電池を本体から抜く。)

- ・電源コード/プラグがいたんだ場合
- ・製品から異常なおいや煙が出た場合
- ・製品の内部に異物が入った場合
- ・使用中に音が出なくなった場合

そのまま使用を続けると、感電や火災、または故障のおそれがあります。至急、お買い上げの販売店または巻末のヤマハ修理ご相談センターに点検をご依頼ください。

## ⚠ 注意

### 電源/電源アダプター



禁止

**たこ足配線をしない。**

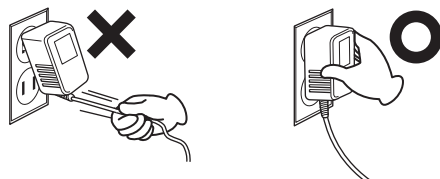
音質が劣化したり、コンセント部が異常発熱して火災の原因になることがあります。



必ず実行

**電源プラグを抜くときは、電源コードを持たずに、必ず電源プラグを持って引き抜く。**

電源コードが破損して、感電や火災の原因になることがあります。



必ず実行

**長期間使用しないときや落雷のおそれがあるときは、必ずコンセントから電源プラグを抜く。**

感電や火災、故障の原因になることがあります。

## 設置



不安定な場所に置かない。

本体が転倒して故障したり、お客様やほかの方々がけがをしたりする原因になります。



必ず実行

本体を移動するときは、必ず電源コードなどの接続ケーブルをすべて外した上で行なう。

コードをいためたり、お客様やほかの方々が転倒したりするおそれがあります。



必ず実行

この製品を電源コンセントの近くに設置する。

電源プラグに容易に手が届く位置に設置し、異常を感じた場合にはすぐに電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。また、電源スイッチを切った状態でも微電流が流れています。この製品を長時間使用しないときは、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。

## 接続



必ず実行

すべての機器の電源を切った上で、ほかの機器と接続する。また、電源を入れたり切ったりする前に、機器のボリュームを最小にする。

感電、聴力障害または機器の損傷の原因になります。



必ず実行

演奏を始める前に機器のボリュームを最小にし、演奏しながら徐々にボリュームを上げて、適切な音量にする。

聴力障害または機器の損傷の原因になります。

## 取り扱い



禁止

本体のすき間に手や指を入れない。

お客様がけがをしますおそれがあります。



禁止

パネル、鍵盤のすき間から金属や紙片などの異物を入れない。

感電、ショート、火災、故障や動作不良の原因になることがあります。



禁止

本体の上ののったり重いものをのせたりしない。また、ボタンやスイッチ、入出力端子などに無理な力を加えない。

本体が破損したり、お客様やほかの方々がけがをしたりする原因になります。



禁止

大きな音量で長時間ヘッドフォンを使用しない。

聴覚障害の原因になります。



必ず実行

ストラップを使用して演奏する場合は、ストラップと楽器が確実に固定されていることを確認する。

楽器が落下して、本体が破損したり、お客様がけがをしますおそれがあります。



禁止

ストラップだけを持って楽器を持ち上げない。

楽器がストラップからはずれて落下するおそれがあります。本体が破損したり、お客様やほかの方々がけがをしたりする原因になりますので、必ず楽器本体を持ってください。



禁止

楽器を振りまわすなどの乱暴な取り扱いはいししない。

楽器がストラップからはずれて落下したり、周囲の人を傷つけるなど、思わぬ事故の原因となります。

- データが破損したり失われたりした場合の補償はいたしかねますので、ご了承ください。
- 不適切な使用や改造により故障した場合の保証はいたしかねます。

使用後は、必ず電源を切りましょう。

[Ⓛ](スタンバイ/オン)スイッチを切った状態(画面表示が消えている)でも微電流が流れています。[Ⓛ](スタンバイ/オン)スイッチが切れているときの消費電力は、最小限の値で設計されています。この製品を長時間使用しないときは必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。

使用済みの電池は、各自治体で決められたルールに従って廃棄しましょう。



機種名（品番）、製造番号（シリアルナンバー）、電源条件などの情報は、製品の底面にある銘板または銘板付近に表示されています。製品を紛失した場合などでもご自身のものを特定していただけるよう、機種名と製造番号については以下の欄にご記入のうえ、大切に保管していただくことをお勧めします。

**機種名**

---

**製造番号**

---

(bottom\_ja\_02)

## 注記(ご使用上の注意)

製品の故障、損傷や誤動作、データの損失を防ぐため、以下の内容をお守りください。

### ■ 製品の取り扱いに関する注意

- テレビやラジオ、ステレオ、携帯電話など他の電気製品の近くで使用しないでください。楽器本体またはテレビやラジオなどに雑音が生じる原因になります。スマートデバイスのアプリケーションと一緒に使用する場合は、通信によるノイズを避けるためスマートデバイスの機内モードをオンにしてから、Bluetooth®をオンにしてお使いいただくことをおすすめします。
- 直射日光のあたる場所(日中の車内など)やストーブの近くなど極端に温度が高くなる場所、逆に温度が極端に低いところ、また、ほこりや振動の多いところで使用しないでください。本体のパネルが変形したり、内部の部品が故障したり、動作が不安定になったりする原因になります(5℃~40℃の範囲で動作することを確認しています)。
- 本体上にビニール製品やプラスチック製品、ゴム製品などを置かないでください。本体のパネルや鍵盤が変色/変質する原因になります。

### ■ 製品のお手入れに関する注意

- 手入れするときは、乾いた柔らかい布をご使用ください。ベンジンやシンナー、アルコール、洗剤、化学ぞうきんなどを使用すると、変色/変質する原因になりますので、使用しないでください。

### ■ データの保存に関する注意

- この楽器のデータ(32ページ)は自動的に保存され、電源を切っても消えません。ただし保存されたデータは故障や誤操作などのために失われることがあります。

この製品は、高調波電流規格 JIS C 61000-3-2 に適合しています。

## お知らせ

### ■ データの著作権に関するお願い

- ヤマハ(株)および第三者から販売もしくは提供されている音楽/サウンドデータは、私的使用のための複製など著作権法上問題にならない場合を除いて、権利者に無断で複製または転用することを禁じられています。ご使用時には、著作権の専門家にご相談されるなどのご配慮をお願いします。
- この製品に内蔵または同梱されたコンテンツは、ヤマハ(株)が著作権を有する、またはヤマハ(株)が第三者から使用許諾を受けている著作物です。製品に内蔵または同梱されたコンテンツそのものを取り出し、もしくは酷似した形態で記録/録音して配布することについては、著作権法等に基づき、許されていません。
  - ※ 上記コンテンツとは、コンピュータプログラム、伴奏スタイルデータ、MIDIデータ、WAVEデータ、音声記録データ、楽譜や楽譜データなどを含みます。
  - ※ 上記コンテンツを使用して音楽制作や演奏を行ない、それらを録音や配布することについては、ヤマハ(株)の許諾は必要ありません。

### ■ 取扱説明書の記載内容に関するお知らせ

- この取扱説明書に掲載されているイラストや画面は、すべて操作説明のためのものです。したがって、実際の仕様と異なる場合があります。
- ご購入の品番の末尾は、「B」「RD」などアルファベットが記載されています。これは、「B」がブラック、「RD」がレッドなど色の情報を表しています。この取扱説明書では、品番の末尾のアルファベットは省略しています。
- iPhone、iPad、iPod touch、Lightningは、米国および他の国々で登録されたApple Inc.の商標です。
- Android™はGoogle Inc.の商標です。
- iOSは、米国およびその他の国におけるCisco社の商標または登録商標であり、ライセンスに基づき使用されています。
- Bluetooth®およびロゴはBluetooth SIGの登録商標であり、ヤマハ株式会社はライセンスに基づき使用しています。



- MIDIは社団法人音楽電子事業協会(AMEI)の登録商標です。
- その他、本書に記載されている会社名および商品名等は、各社の登録商標または商標です。

## ■ Bluetoothの扱いについて

- Bluetoothについては、38ページをご覧ください。

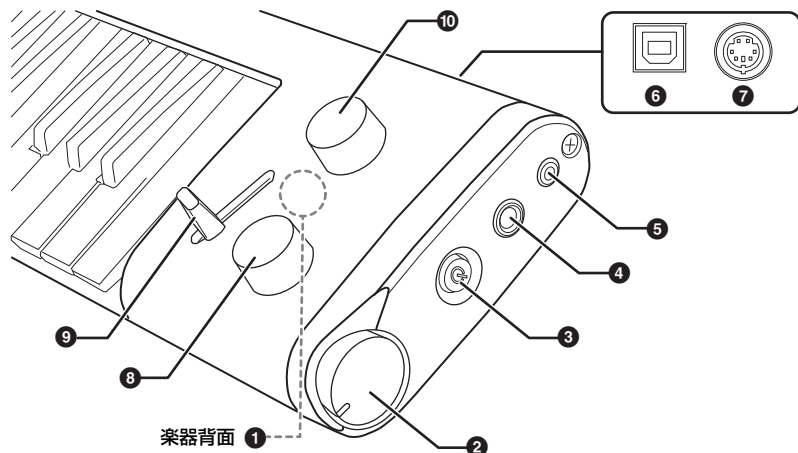
### 対応フォーマット



#### GMシステムレベル1

メーカーや機種が異なった音源でも、ほぼ同じ系統の音色で演奏が再現されることを目的に設けられた、音色配列やMIDI機能に関する音源フォーマットです。

# 各部のおもなはたらき



## ① DC IN端子(17ページ)

付属の電源アダプターを接続します。

## ② [VOLUME](ボリューム)ダイヤル

音量を調節します。

## ③ [⏻](スタンバイ/オン)スイッチ

電源のスタンバイ/オンを切り替えます。

## ④ [LINE OUT]端子

アンプ内蔵スピーカーに接続してより大きな音で演奏したり、ライブハウスでミキサーなどの外部機器から音を出すときに使います。6.3mmモノラル標準フォーン出力端子です。

LINE OUTの音量は、外部機器側で調節してください。

### 注記

機器の損傷を防ぐために、キーボード → 外部機器の順に電源を入れてください。電源を切るときはこの逆の順で行ってください。

## ⑤ [AUX IN]端子

携帯音楽プレーヤーなどのオーディオ機器を接続して、オーディオ機器の音をキーボードの内蔵スピーカーで鳴らします。3.5mmステレオミニ入力端子です。オーディオ機器の音量は、オーディオ機器側で調整してください。

### 注記

機器の損傷を防ぐために、オーディオ機器 → キーボードの順に電源を入れてください。電源を切るときはこの逆の順で行ってください。

## 6 [TO HOST]端子(28ページ)

USBケーブルを使ってスマートデバイスやPCと接続します。MIDI送受信またはオーディオ送受信(USBオーディオインターフェース機能)が可能です。USBオーディオインターフェース機能についてはリファレンスマニュアルをご覧ください。MIDIを送受信するときは、ファンクションの設定が必要な場合があります(→下記「MIDI送受信時は」参照)。

## 7 [MIDI]端子

付属のMIDI変換ケーブルと別売のMIDIケーブルを使って外部MIDI機器と接続します。MIDIを送受信するときは、ファンクションの設定が必要な場合があります(→下記「MIDI送受信時は」参照)。

## 8 SELECT: セレクトノブ(21ページ)

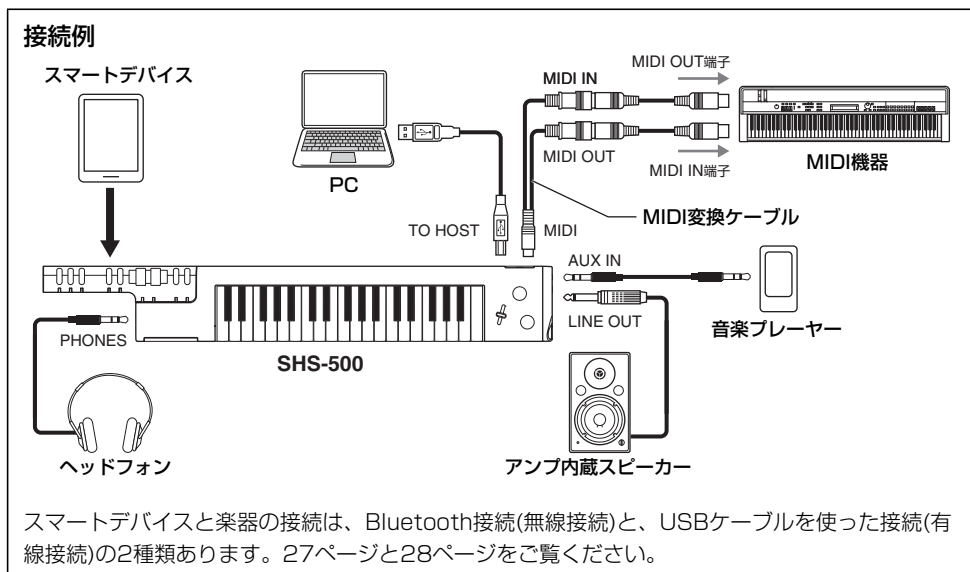
鍵盤の音色を選びます。選択した音色名はディスプレイの上段に表示されます。ファンクションボタン点灯中は、ファンクションの値を設定します。

## 9 EFFECT: エフェクトセクター (22ページ)

音色にかけるエフェクトを選択します。エフェクトコントロールノブと組み合わせて使います。

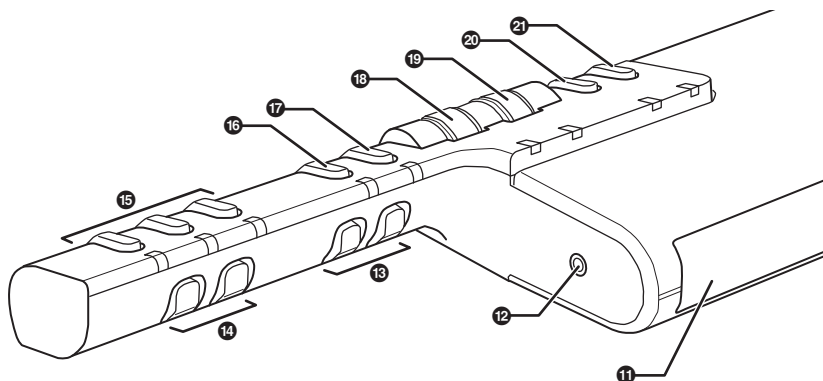
## 10 EFFECT CONTROL: エフェクトコントロールノブ(22ページ)

エフェクトセクターで選択したエフェクトの値を変更します。時計方向に回すほど効果が深くかかります。



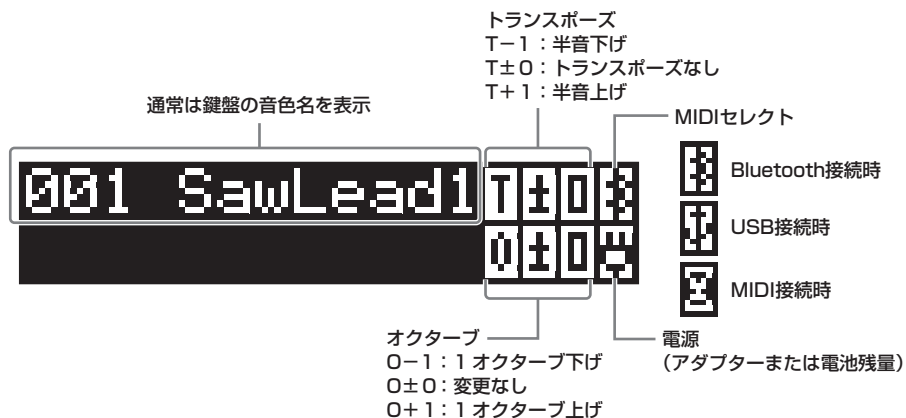
### MIDI送受信時は

使用する機能または端子に合わせて、ファンクション「MIDI Select」の値を設定してください。ファンクションボタンを何度か押して画面上段に「MIDI Select」を選択し、セレクトノブで画面下段に、BLE MIDI (Bluetooth機能)、USB MIDI (TO HOST端子)、MiniMIDI (MIDI端子)のいずれかを選択します。



## 11 ディスプレイ

現在の設定が表示されます。



## 12 [PHONES]端子

ヘッドフォンを接続します。3.5mmステレオミニ出力端子です。ヘッドフォンを接続すると内蔵スピーカーからは音が出なくなります。ただしLINE OUTからは音が出ます。



**注意**

大きな音量で長時間ヘッドフォンを使用しないでください。聴覚障害の原因になります。

## 13 OCTAVE: オクターブボタン[-][+]

音の高さ(ピッチ)を1オクターブ単位で上げ下げします。両方のボタンを同時に押すと元の高さに戻ります。オクターブの状態はディスプレイに表示されます。

## 14 TRANSPOSE: トランスポーズボタン[-][+]

音の高さ(ピッチ)を半音単位で上げ下げします。両方のボタンを同時に押すと元の高さに戻ります。トランスポーズの状態はディスプレイに表示されます。

15 [◀◀](早戻し)、[▶/|||](再生/一時停止)、[▶▶](早送り)

アプリ「Chord Tracker」接続時: アプリの曲再生をリモートコントロール(29ページ)

アプリ非接続時: 内蔵デモ曲の再生をコントロール(24ページ)

16 JAMボタン(29ページ)

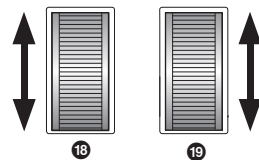
JAMがオンになります(点灯)。押すたびにJAMモードを切り替え、さらに押すとJAMがオフになります(消灯)。

17 SUSTAIN: サステインボタン

押しているあいだ演奏音が伸びます。

18 PITCH: ピッチベンドホイール

音の高さ(ピッチ)をなめらかにコントロールします。



19 MODULATION: モジュレーションホイール

音色にビブラート(音を揺らす)効果がかかります。ホイールを手前に回すと効果が大きくなり、奥へ回すと小さくなります。ファンクションで設定すれば、エフェクトコントロールノブ(10)と同じように、エフェクトの深さを調節できるようになります。

20 FUNCTION: ファンクションボタン

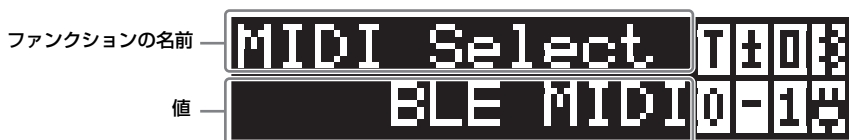
ファンクションモードに入ります(点灯)。チューニングやMIDIチャンネルの選択など、楽器のさまざまな設定が変更できます。ファンクションの説明はリファレンスマニュアル(2ページ)をご覧ください。

**ファンクションの操作:** このボタンを押すたびにファンクションの名前がディスプレイ上段に順番に表示されますので、設定したい項目を選んだあと、セレクトノブ(8)を回してディスプレイ下段の値を設定します。

エグジットボタン(21)を押すとファンクションモードを抜けます(消灯)。

**NOTE**

最後に選んだファンクションの項目は記憶され、次にファンクションボタンを押したとき同じ項目が呼び出されます。



21 EXIT: エグジットボタン

ファンクションモードを抜けます。

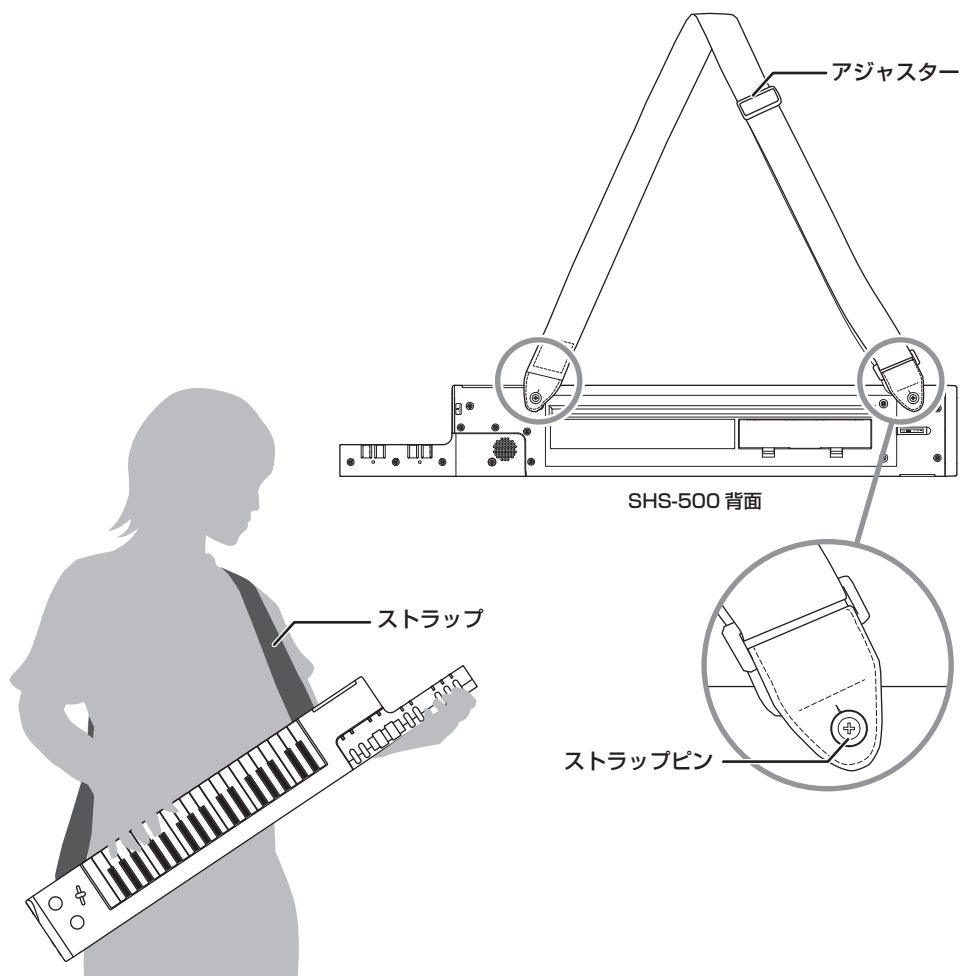
# ご使用前の準備

## ストラップの付け方

付属のストラップを、図のようにしっかりとストラップピンに取り付けてください。  
ストラップの長さは簡単に変えられますので、ご自分の使いやすい長さに調節してください。

### ⚠ 注意

- 付属のストラップはこのモデル専用です。ほかの製品には使えません。
- ストラップ取り付け後、ストラップが確実に固定されているか確認してください。
- ストラップだけを持ってキーボードを持ち上げないでください。キーボードが落下するおそれがあります。
- ストラップピンを固定しているネジは絶対にゆるめないでください。



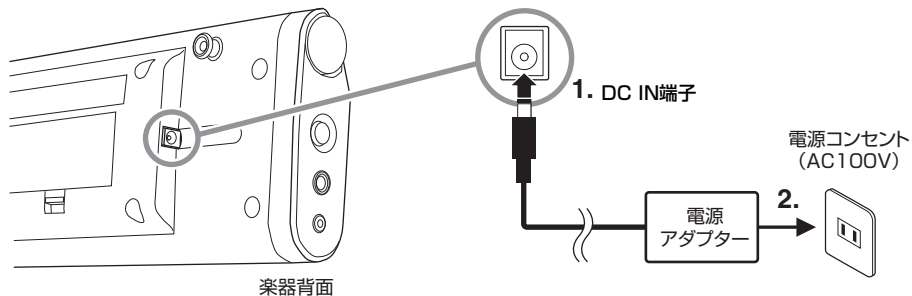


## 電源の準備

この楽器の電源には、電源アダプターか電池を使用できます。

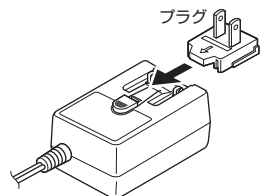
### 電源アダプターのと き

図の順序で電源アダプターを接続します。



#### ⚠ 警告

- 電源アダプターは、必ず指定のもの(35ページ)をご使用ください。異なった電源アダプターを使用すると、故障、発熱、火災などの原因になります。このような場合は、保証期間内でも保証いたしかねることがございますので、十分にご注意ください。
- プラグが外れるタイプの電源アダプターは、必ずプラグを装着した状態で使用、または保管してください。プラグ部分だけをコンセントに差し込むと、感電や火災の原因になります。
- プラグが外れた場合は、内部の金属部分に触れないように注意して、カチッと音がするまで完全に差し込んでください。また異物が入らないようにご注意ください。感電やショート、故障の原因になります。



#### ⚠ 注意

本体はコンセントの近くに設置し、異常を感じた場合にはすぐに電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。

#### NOTE

電源アダプターを外すときは、電源を切ってから、逆の手順で行なってください。

## 電池のとき

この楽器には、単3形のアルカリ乾電池、マンガン乾電池、および充電式ニッケル水素電池(充電電池)を使用できます。

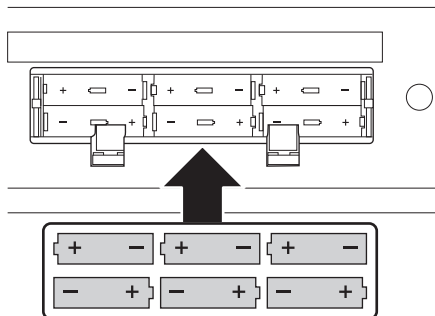
### 電池の種類「バッテリータイプ」を設定してください

お使いの電池の種類に合わせて、本体の設定(アルカリ/マンガンまたは充電電池)を切り替えてください。初期設定はアルカリ/マンガンです。設定するには、電源を入れたあと、画面上段に「Battery」と表示されるまでファンクションボタンを何度か押し、セレクトノブで電池の種類を選択します。アルカリ乾電池、マンガン乾電池のときはAlkaline、充電電池のときはNi-MHを選びます。

### 注記

電池の種類の設定を間違えると、電池の劣化を早め、使用可能時間が短くなります。正しい設定でお使いください。

1. 電源が切れていることを確認してください。
2. 本体を柔らかい布などの上で裏返し、電池カバーを外します。
3. 電池6本を入れます。イラストに合わせて、向きを間違えないように入れてください。



4. 電池カバーを閉めます。

### 注記

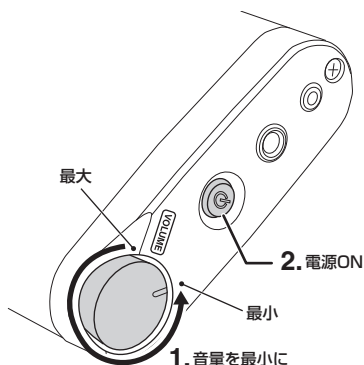
- 電池がセットされ電源が入っているときに、電源アダプターを抜き差しすると、電源が切れることがあります。電源が切れるとデータが本体に正常に保存されませんので、ご注意ください。
- 電池は早めにお取りかえいただくことをおすすめします。電池が少なくなると、音量が小さくなったり、音質が劣化したり、また正常に動かなくなることがあります。このような場合は、すべての乾電池を交換するか、充電電池を充電してください。

### NOTE

- 充電電池は、必ず専用の充電器で充電してください。この楽器では、充電できません。
- 電池が本体に入っている状態でも、アダプターを本体に差し込むと、アダプターから電源が供給されます。

## 電源を入れる/切る

1. マスターボリュームを手前に回し、音量を最小にします。
2. [⏻](スタンバイ/ オン)スイッチを押して電源を入れます。



ディスプレイにロゴが現れたあと、通常画面が表示されます。



音量は鍵盤を弾いて確かめながら、徐々に上げてください。

音が出ないときは、33ページの「困ったときは」をご覧ください。

### ⚠ 注意

大きな音量で長時間使用しないでください。聴覚障害の原因になります。

### 注記

電源を入れてから、楽器が完全に起動するまで操作しないでください。楽器が誤動作する原因になります。





3. 電源を切るには、もう一度[⏻](スタンバイ/ オン)スイッチを押します(1秒)。

### ⚠ 注意

電源を切った状態でも微電流が流れています。この楽器を長時間使用しないときや落雷のおそれがあるときは、必ずコンセントから電源プラグを抜いてください。また、電池を使用している場合は、電池を本体から抜いてください。

## 電源表示

電源の状態が画面に表示されます。

			
電源アダプター	電池: 多い	電池: 少ない 早めの充電または交換	電池: なし 電源が切れず

## オートパワーオフ機能

このキーボードは、電源の切り忘れによる無駄な電力消費を防ぐため、本体が一定時間操作されないと自動的に電源が切れます(オートパワーオフ機能)。電源が切れるまでの時間は、初期設定では30分ですがファンクションから変更できます。(詳しくはリファレンスマニュアル参照)

### オートパワーオフ機能を無効にする

1. 電源が入っている場合には、一度電源を切ります。
2. 左端の鍵盤(一番低いド)を押したまま電源を入れます。  
画面下に「AutoOff Disabled」と表示されます。

### オートパワーオフ機能を有効にする

一度無効にしたオートパワーオフ機能を有効にしたいときは、ファンクションから設定するか、楽器の初期化(イニシャライズ)(32ページ)を行ないます。

### 注記

- オートパワーオフ機能で電源が切れた場合、本体の設定データは自動的にバックアップされます。
- アンブやスピーカーなどの外部機器を本体に接続した状態で、一定時間本体を操作しない場合は、外部機器損傷を防ぐために外部機器→楽器の順に電源を切ってください。接続した状態で自動的に電源が切れるのを避けたい場合は、オートパワーオフ機能を無効にしてください。

# いろいろな音で演奏しよう

## 音色を変える

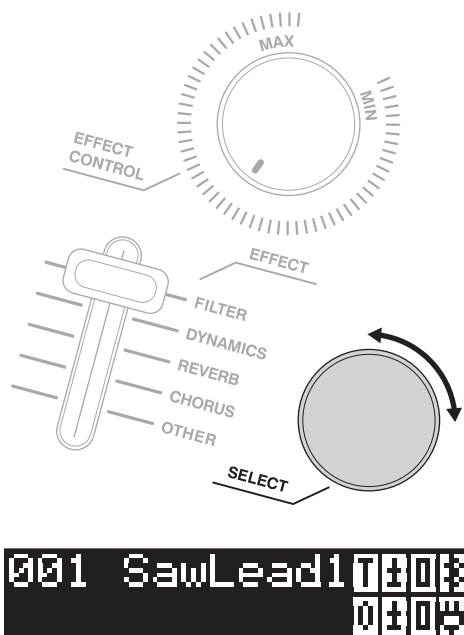
鍵盤の音はギターやエレクトリックピアノなどの音色に、変えることができます。

### NOTE

ファンクションボタンが点灯しているときはセレクトノブの動きが異なるため、エグジットボタンを押して消灯させておいてください。

### 1. セレクトノブを回す。

選んだ音の名前が画面上に表示されます。



### NOTE

音色一覧はリファレンスマニュアルでご覧いただけます。

# エフェクト(効果)をかける

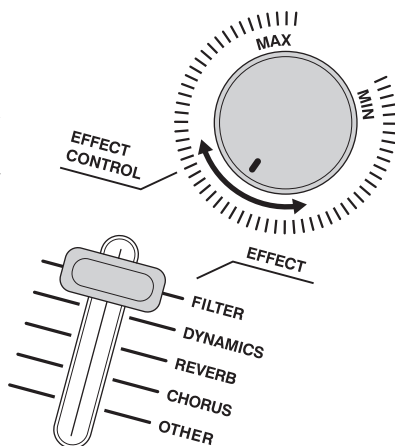
演奏音にエフェクトをかけて音の響きを変えたり、鍵盤のタッチ感度を変えられます。

1. エフェクトセクターでエフェクトを選ぶ。
2. エフェクトコントロールノブを回して効果の深さを設定する。

各エフェクトは時計方向に回すほど効果が深くかかります。ノブを反時計方向いっぱいに戻すと、エフェクトオフになります。

別の音色を選ぶと、設定は解除され、音色ごとのおすすめの設定に戻ります。

<b>FILTER</b>	音の表情を変化させます。
<b>DYNAMICS</b>	鍵盤のタッチ感度を調整します。設定値が小さいほど、強弱を効かせた演奏ができます。設定値を大きくすると、均一に大きな音で目立つ演奏ができます。
<b>REVERB</b>	音に残響音を加えます。
<b>CHORUS</b>	音に厚みを加えます。
<b>OTHER</b>	ファンクションで選ばれているDSPタイプのかかり具合を調整します。 初期設定では、音色ごとにおすすめのDSPタイプが設定されています。



OTHERのDSPタイプはファンクションで選べます。設定するにはファンクションボタンを何度か押して画面上段に「DSP Type」を表示させ、セレクトノブを回してDSPタイプを選びます(画面下段)。設定が終わったらエグジットボタンを押してファンクションを消灯させます。DSPタイプについては「リファレンスマニュアル」をご覧ください。


## NOTE

エフェクトコントロールノブの機能をモジュレーションホイール(15ページ)でも使えるようにしておくと、右手で演奏しながら、左手でモジュレーションホイールを回してリアルタイムで効果をかけられるので便利です。設定するにはファンクションボタンを何度か押して画面上段に「Modulation」を表示させ、セレクトノブを回して「EfctCtrl」を選びます(画面下段)。

# JAM機能を楽しもう

## JAM機能について

無償アプリ「Chord Tracker」と接続し、スマートデバイス内の曲に合わせて、一緒に演奏できる機能です。適当に弾いても音が外れず、曲に合った音が鳴りますので、手元を気にせず思い切り演奏できます。



好きな曲に合わせて  
かってよく  
演奏しましょう！

鍵盤の位置を気にせず、自由に感じたままに鍵盤を弾いて、楽しく遊んでみましょう。

次ページでは、内蔵のデモ曲を使って、JAMの楽しみ方をご紹介します。

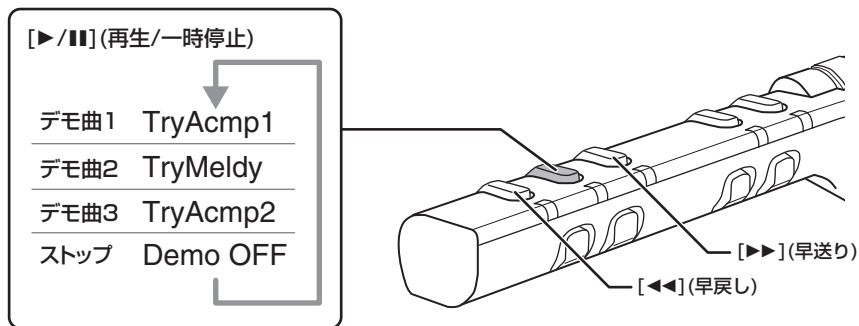
JAM Function

## JAM機能を体験しよう

内蔵のデモ曲を使うと、アプリを接続することなく、JAM機能を体験できます。デモ曲を再生するだけでJAM機能がオン、最適なJAMモードが選択されますので、デモ曲に合わせて弾いてみましょう。

### デモ曲を選択しよう

デモ曲は3曲あり、[▶/|||](再生/一時停止)ボタンを押して選びます(点滅)。選択と同時にスタートし、連続再生してまた最初の曲に戻ります。選んだデモ曲名は画面下段に表示されます。



ストップしたいときは、[▶/|||]ボタンを何度か押して消灯させてください。

### デモ曲にあわせて弾いてみよう

#### ■ デモ曲名：TryAcmp1

おすすめの音色：001 SawLead1、JAMモード：Backing

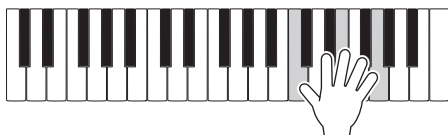
JAMモード「Backing」が自動的に選択されます(30ページ)。

伴奏に適したモードですので、曲に合わせて伴奏を弾いてみましょう！

#### 曲に合わせて伴奏を弾きましょう

まずは、曲のリズムを感じてください。

曲のリズムに合わせて、和音を弾いてみてください。弾く鍵盤はどこでも大丈夫です。



慣れてきたら、弾く位置を少しずつ変えてみましょう！

どうでしょう？ どの鍵盤を押さえても、曲に合った音が鳴りますね！

ではそのまま、リズムに乗って何度も弾いてみましょう。



## ここでワンポイント!



演奏中、画面の下を見てみてください。

「Cm7」などの記号が出て、曲の進行とともにどんどん表示が変わっていくのがわかりますね。

これは曲中のコード情報です。JAMモード中は、この表示が変わると、同じ鍵盤を押さえ直しても、さっきとはちがう音で鳴ります(コード進行によっては音が変わらない場合もあります)。演奏に慣れてきたら、コード表示が変わるたびに鍵盤を押さえ直すのも、曲の進行にあった伴奏方法の1つです。

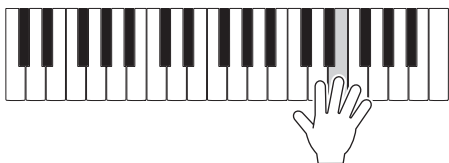
### ■ デモ曲名：TryMeldy

おすすめの音色：006 UnderHeim、JAMモード：Melody B

JAMモード「Melody B」が自動的に選択されます(30ページ)。  
メロディーを弾くのに適したモードです。

#### 曲に合わせてメロディーを弾きましょう

親指 → 中指 → 小指のように1音ずつちがう音を弾きましょう。  
適当に弾いても、きれいなフレーズのように鳴ります!



### ■ デモ曲名：TryAcmp2

おすすめの音色：009 E.Piano、JAMモード：1 Finger

JAMモード「1 Finger」が自動的に選択されます(30ページ)。  
「Backing」モードと同様、伴奏に適したモードですが、押さえた鍵盤の音にハーモニーが付きま  
すので、指1本で伴奏することもできます。

#### 曲に合わせて伴奏を弾きましょう

1つの鍵盤から複数の音が鳴ります。



JAM機能をオフにしたいときは、JAMボタンが消灯するまで、JAMボタンを何度か押してください。

## 好きな曲に合わせて弾いてみよう

今度はJAM機能を使って、スマートデバイス内の曲に合わせて演奏してみましょう。スマートデバイスにアプリをダウンロードして、キーボードとBluetooth接続してください。



### アプリをダウンロードする

---

無償アプリ「Chord Tracker」(iOS/Android)をダウンロードします。

#### Chord Tracker (無償アプリ)



「Chord Tracker」は、iOSとAndroidのスマートデバイスに対応しています。アプリのリリース日、詳細、対応デバイス、入手方法については、以下のウェブサイトまたは、検索エンジンにて、「ヤマハ Chord Tracker」で検索してください。

<http://jp.yamaha.com/products/apps/>



# Bluetooth接続する

## NOTE

Bluetooth無線接続ができない場合はUSBケーブルを使って有線で接続することもできます。接続方法は次ページをご覧ください。

1. キーボードの電源を入れる。
2. スマートデバイスのBluetooth機能をオンにする。
3. アプリ Chord Trackerを起動して、[設定] → [Bluetooth MIDI Device]で、この楽器の名前「SHS-500」をタップする。

接続が完了すると、「Connected」と表示されます。



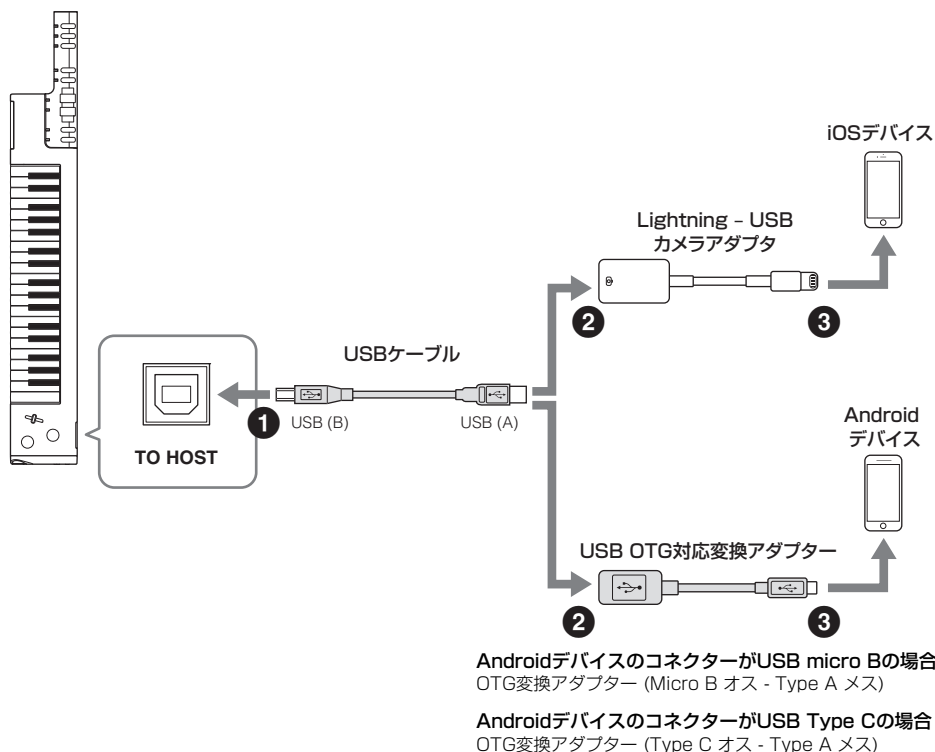
※画面はiPhoneの例です。

Bluetooth接続できない場合は、33ページの「困ったときは」をご覧ください。

## NOTE

この楽器のBluetoothがやりとりできるのはMIDIデータのみです、オーディオデータはやりとりできません。

## USBケーブルで接続する



### 1. キーボードの電源を切った状態で、スマートデバイスをキーボードに接続する。

イラストの手順数字に従って、順番に接続してください。

USBケーブルでつなぐ場合に必要なものは、デバイスの種類によって異なります。上のイラストをご覧ください。

#### 注記

USBケーブルを使って接続する場合は、ABタイプのものご使用ください。また、3メートル未満のケーブルをご使用ください。USB 3.0ケーブルは、ご使用できません。

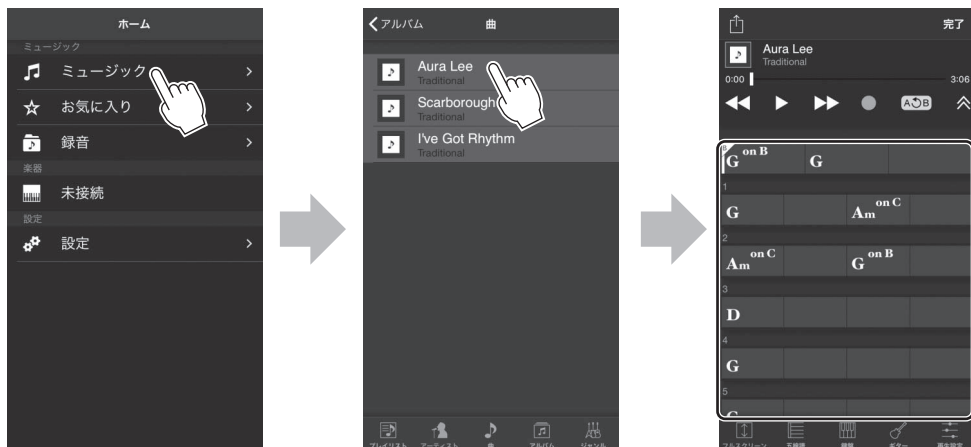
### 2. キーボードの電源を入れる。

### 3. アプリとMIDIデータを送受信する端子(または機能)を、BluetoothからTO HOST端子に変更する。

ファンクションボタンを何度か押して画面上に「MIDI Select」を選択し、セレクトノブを回して画面下に「USB MIDI」を選択します。Bluetooth接続する場合は、「BLE MIDI」(Bluetooth)に戻してください。

# アプリと一緒に演奏する

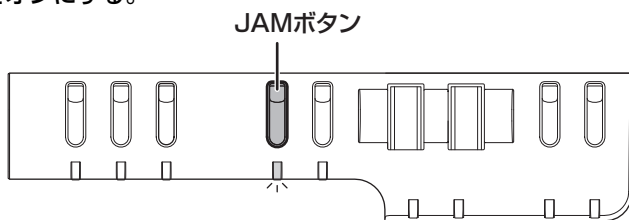
1. キーボードをBluetooth接続(またはUSB接続)します。接続手順は27ページにあります。
2. アプリ「Chord Tracker」を起動して、曲を選ぶ。  
選んだ曲のコード情報が自動解析され、画面に表示されます。



## NOTE

コード情報は高い精度で解析されていますが、原曲と異なる場合があります。

3. JAM機能をオンにする。



4. JAMのモードを選ぶ。

JAMボタンを押すたびに5つのJAMモード(次ページ)を順番に選べますので、演奏したいスタイルに合わせて選びます。選んだモードは画面に表示されます。



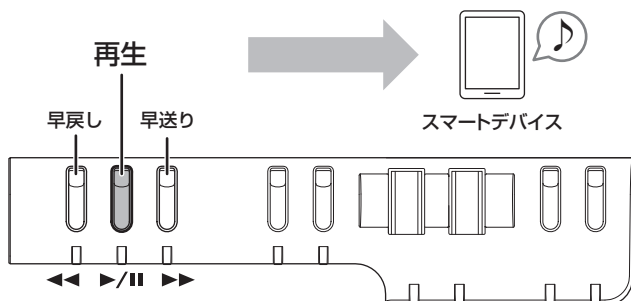
## JAMモード

1 Finger	指1本でも伴奏ができます。 →内蔵のデモ曲を使って、このモードの楽しみ方をご紹介します(24ページ)
Backing	伴奏ができます。 →内蔵のデモ曲を使って、このモードの楽しみ方をご紹介します(24ページ)
Melody A	メロディー演奏に適しています。A→B→Cの順に試して演奏に合うモードを見つけてください。 →内蔵のデモ曲を使って、このモードの楽しみ方をご紹介します(24ページ)
Melody B	
Melody C	
Off	JAMがオフになります。

\*メロディー演奏時、アプリのボーカルキャンセル機能を使うと、曲によってはボーカルを消音または小さい音にできる場合があります。ボーカルキャンセル操作についてはアプリのマニュアルをご覧ください。

## 5. 曲を再生する。

楽器の[◀◀](早戻し)、[▶/||](再生/一時停止)、[▶▶](早送り)でアプリをコントロールして、曲を再生/一時停止できます。



- Bluetooth接続時はスマートデバイスから曲が鳴ります。
- USB接続時は楽器本体から曲が鳴ります。

### NOTE

再生と同時に、曲中のコード情報が自動解析されてアプリから楽器へMIDI送信されます。このコード情報とモード選択により鍵盤の発音が決まります。

## 音量設定

- 曲の音量と演奏音量が合わない場合、スマートデバイス側の音量を調整してください。さらに調整が必要な場合は、楽器側のEQタイプ(出音の設定)を変更してください。ファンクションボタンを何度か押して画面上に「EQ Type」を選択すると、画面下にタイプが表示されますので、セレクトノブで選びます。
- USB接続時は、スマートデバイスの音量が最小になっていても、楽器から音が鳴る場合があります。



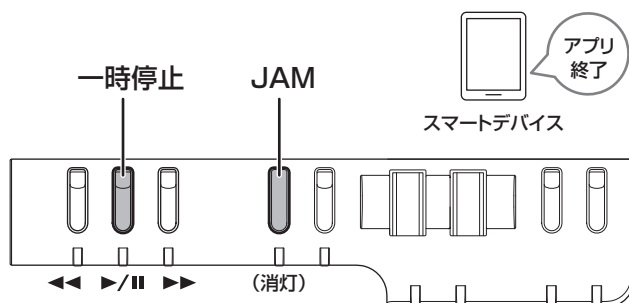
## 6. 曲のリズムに合わせて一緒に演奏する。

選んだJAMモードにあわせて、伴奏またはメロディーを弾きましょう！  
JAMモードの楽しみ方(24ページ)もあわせてご覧ください。



## 7. 演奏を終了する。

[▶/||] (再生/一時停止) ボタンを押して曲をストップさせて、[JAM] ボタンを何度か押してJAM機能をオフにします(消灯)。また、スマートデバイスのアプリも終了させてください。



### 注記

アプリを終了せずにUSBケーブルを抜いたり、Bluetooth接続を解除したりすると、楽器はアプリとの接続状態のままとなり、内蔵のデモソングが再生されなくなります。

### NOTE

- アプリ Chord Trackerの詳細な機能や操作方法については、アプリのマニュアルをご覧ください。
- JAMモード中はトランスポーズ機能は使えません。



### ヘッドフォンでお楽しみいただくときは

Bluetooth接続時、スマートデバイスの音と鍵盤の音をどちらもヘッドフォンで聞きたいときは、スマートデバイスのヘッドフォン端子と楽器のAUX IN端子をオーディオ接続ケーブルで接続してください。

# バックアップと初期化(イニシャライズ)

電源を切ったとき、オートパワーオフ機能で電源が切れた場合、それまでの設定データは自動的にバックアップされます。

## バックアップされる内容

### ファンクションの設定

- Tuning (チューニング)
- EQ Type (EQタイプ)
- MIDI Select (MIDIデータ送受信用の端子を選択)(13ページ「MIDI送受信時は」)
- MIDI CH (MIDIチャンネル)
- LoopBack (オーディオループバック オン/オフ)
- Battery (バッテリータイプ)(18ページ)
- Auto Off (オートパワーオフ)(20ページ)

※ファンクションの設定のうち、参照ページが付いていないものは、電子マニュアル「リファレンスマニュアル」に説明があります。

### 注記

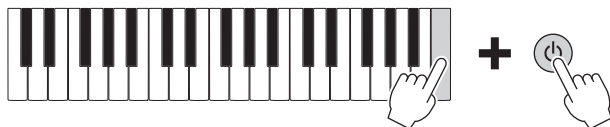
バックアップは電源を切るときに自動的に実行されますが、下記の状況で電源が切れたときは、バックアップが実行されませんのでご注意ください。

- 電源が入っている状態で、電源アダプターを抜いたとき
- 停電などで突然電源が切れたとき
- 電池を使用していて、消耗して電源が切れたとき

## 初期化

すべての設定をリセットし、工場出荷状態と同じ設定にしたいときに操作します。

1. 電源が入っている場合には、一度電源を切ります。
2. 右端の鍵盤(一番高いド)を押したまま電源を入れます。



画面下に「Backup Clear」と表示されます。



# 困ったときは

## Q. 音が鳴らない、小さい。

- A. マスターボリュームダイヤルを動かして音量を上げてください。またはエフェクトセクターで「DYNAMICS」を選び、エフェクトコントロールノブを時計方向にまわしてタッチ感度を上げてください。またはエフェクトセクターで「FILTER」を選び、エフェクトコントロールノブを回してフィルター値を調節してください。

## Q. Bluetooth接続できない。

- A. アプリがインストールされているスマートデバイスのBluetooth機能がオンになっているか確認してください。または初期化(32ページ)を行なうことで、ファンクション「MIDI Select」の設定が「BLE MIDI」(Bluetooth)に設定されますので、再度接続をやり直してください。

## Q. USBケーブルで接続できない。

- A. ファンクション「MIDI Select」の設定が「USB MIDI」になっているか確認してください(28ページ 手順3)。

## Q. 音が揺れている。

- A. モジュレーションホイールが手前に回っていませんか？ 奥へ回してください。

## Q. MIDIが送受信できない。

- A. 使用する機能または端子に合わせてファンクションを設定してください。操作方法は13ページ「MIDI送受信時は」をご覧ください。

## Q. [▶/■]ボタンを押しても、デモソングが再生しない。

- A. 電源を入れなおしてから、[▶/■]ボタンを押してください。

その他のお困りごとにつきましては、電子マニュアル「リファレンスマニュアル」の「困ったときは」に掲載されています。

ヤマハウェブサイト「よくあるお問い合わせ(Q&A)」(<http://yamaha.custhelp.com/>) もご確認ください。

# 仕様一覧

品名	Digital Keyboard	
音源		AWMステレオサンプリング
	最大同時発音数	48
	ボイス数	30
	対応フォーマット	GM
エフェクト	リバーブ、コーラス、DSP 9種類	
デモ	プリセット	3曲
ファンクション	JAM	○ (5モード)
	全体設定	チューニング、モジュレーション、ピッチベンドレンジ、ポルタメント、DSP、MIDI切り替え、トランスポーズ、オクターブシフト、USBオーディオインターフェース機能(44.1kHz、16ビット、ステレオ)
	Bluetooth接続	Bluetooth (Ver 4.0 GATT対応) Bluetooth Low Energy MIDI Specificationに準拠 送信周波数範囲: 2402~2480MHz 無線最大出力電力: 4dBm
操作子	鍵盤	37 HQ (High Quality) Mini鍵盤
	その他操作子	ピッチベンドホイール、モジュレーションホイール、トランスポーズボタン、オクターブボタン、早戻しボタン、再生/一時停止ボタン、早送りボタン、サステインボタン、エフェクトコントロールノブ、セレクトノブ、エフェクトセクター
	ディスプレイ	バックライト付きLCD
接続端子	[AUX IN] (3.5mmステレオミニジャック) [LINE OUT] (6.3mmモノラル標準フォーンジャック) [PHONES] (3.5mmステレオミニジャック) [TO HOST] [MIDI] (ミニDIN IN/OUT) [DC IN]	
音響	アンプ出力: 0.7W、スピーカー: 3.6cm	

<b>電源</b>	<b>電源</b>	電源アダプター：PA-130B(またはヤマハ推奨の同等品) 電池：単3電池(アルカリ電池/マンガン電池/充電式ニッケル水素電池)×6(別売)
	<b>消費電力</b>	3W (電源アダプター PA-130B使用時)
	<b>電池寿命</b>	約10時間(アルカリ電池使用時) 約8時間(充電式ニッケル水素電池使用時)
	<b>オートパワーオフ</b>	○
<b>寸法・質量</b>		821mm (W) x 121mm (D) x 65mm (H)、 1.5kg (電池含まず)
<b>付属品</b>		電源アダプター、ストラップ、MIDI変換ケーブル、 取扱説明書、保証書、製品ユーザー登録のご案内
<b>別売品</b>		ソフトケース: SC-KB350、 ヘッドフォン: HPH-150、HPH-100、HPH-50

本書は、発行時点での最新仕様で説明しています。最新版は、ヤマハウェブサイトからダウンロードできます。

# 索引

[◀◀](早戻し) .....	15, 24, 30
[▶/  ](再生/一時停止) .....	15, 24, 30
[▶▶](早送り) .....	15, 24, 30

<b>A</b>	
[AUX IN]端子 .....	12

<b>B</b>	
Bluetooth接続する .....	27

<b>C</b>	
Chord Tracker .....	26
CHORUS .....	22

<b>D</b>	
DC IN端子 .....	12, 17
DYNAMICS .....	22

<b>E</b>	
EXIT .....	15

<b>F</b>	
FILTER .....	22
FUNCTION .....	15

<b>J</b>	
JAM機能 .....	23, 26, 29
JAMボタン .....	15, 29
JAMモード .....	30

<b>L</b>	
[LINE OUT]端子 .....	12

<b>M</b>	
[MIDI]端子 .....	13
MODULATION .....	15

<b>O</b>	
OCTAVE .....	14
OTHER .....	22

<b>P</b>	
[PHONES]端子 .....	14
PITCH .....	15

<b>R</b>	
REVERB .....	22

<b>S</b>	
SUSTAIN .....	15

<b>T</b>	
[TO HOST]端子 .....	13
TRANSPOSE .....	14

<b>U</b>	
USBケーブルで接続する .....	28

<b>ア</b>	
アプリ .....	26, 29

<b>エ</b>	
エグジットボタン .....	15
エフェクト(効果) .....	22
エフェクトコントロールノブ .....	13
エフェクトセレクター .....	13

<b>オ</b>	
オートパワーオフ .....	20
オクターブ .....	14
音色 .....	21
音量 .....	19

<b>カ</b>	
画面 .....	14

<b>コ</b>	
困ったときは .....	33

<b>サ</b>	
サステイン .....	15

<b>シ</b>	
初期化(イニシャライズ) .....	32

<b>ス</b>	
ストラップ .....	16

## セ

接続 .....	13
セレクトノブ .....	13

## テ

ディスプレイ .....	14
デモ曲 .....	24
電源 .....	17, 19
電源アダプター .....	17
電子マニュアル .....	2
電池 .....	18

## ト

トランスポーズ .....	14
---------------	----

## ハ

バックアップ .....	32
--------------	----

## ヒ

ピッチベンドホイール .....	15
------------------	----

## フ

ファンクションボタン .....	15
------------------	----

## ヘ

ヘッドフォン .....	14, 31
--------------	--------

## ホ

ボリューム .....	12
-------------	----

## モ

モジュレーションホイール .....	15
--------------------	----

## リ

リファレンスマニュアル .....	2
-------------------	---

# Bluetoothについて

Bluetoothとは、2.4 GHz帯の電波を利用して、対応する機器と無線で通信を行なうことができる技術です。

## Bluetooth通信の取り扱いについて

- Bluetooth対応機器が使用する2.4 GHz帯は、さまざまな機器が共有する周波数帯です。Bluetooth対応機器は、同じ周波数帯を使用する機器からの影響を最小限に抑えるための技術を採用していますが、他の機器の影響によって通信速度や通信距離が低下することや、通信が切断されることがあります。
- 通信機器間の距離や障害物、電波状況、機器の種類により、通信速度や通信距離は異なります。
- 本機はすべてのBluetooth機能対応機器とのワイヤレス接続を保証するものではありません。

## 製品の取り扱いに関する注意

- 本製品は、日本国内でのみ使用できます。
- 本製品は、日本電波法に基づく認証を受けた無線機器を内蔵しております。従って、本製品を使用するときに無線局の免許は不要です。ただし、本製品に以下の行為を行なうと法律で罰せられることがあります。
  - 本製品を分解/改造する
  - 本体底面の銘板をはがしたり、消したりする

### 無線に関するご注意

この製品の使用周波数帯では、電子レンジなどの産業・科学・医療用機器のほか、工場の製造ライン等で使用されている移動体識別用の構内無線局(免許を要する無線局)および特定小電力無線局(免許を要しない無線局)並びにアマチュア無線局(免許を要する無線局)が運用されています。

- 1 この機器を使用する前に、近くで移動体識別用の構内無線局および特定小電力無線局並びにアマチュア無線局が運用されていないことを確認してください。
- 2 万一、この機器から移動体識別用の構内無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合には、速やかに使用場所を変えるか、または機器の運用を停止(電波の発射を停止)してください。

# アフターサービス

サービスのご依頼、お問い合わせは、お買い上げ店、またはヤマハ修理ご相談センターにご連絡ください。

## 保証について

### ● 保証書

本製品には保証書が付いています。  
「販売店印・お買い上げ日」が記入されている場合は、記載内容をお確かめの上、大切に保管してください。記入されていない場合は、購入を証明する書類(領収書、納品書など)とあわせて、大切に保管してください。

### ● 保証期間

保証書をご覧ください。

### ● 保証期間中の修理

保証書記載内容に基づいて修理いたします。詳しくは保証書をご覧ください。

### ● 保証期間経過後の修理

修理すれば使用できる場合は、ご希望により有料にて修理させていただきます。

有寿命部品については、使用時間或使用環境などにより劣化しやすいため、消耗劣化に応じて部品の交換が必要となります。有寿命部品の交換は、お買い上げ店またはヤマハ修理ご相談センターへご相談ください。

#### 有寿命部品の例

ボリュームコントロール、スイッチ、ランプ、リレー類、接続端子、鍵盤機構部品、鍵盤接点など

### ● 補修用性能部品の最低保有期間

製品の機能を維持するために必要な部品の最低保有期間は、製造打切後8年です。

### ● 持込み修理のお願い

まず本書の「困ったときは」をよくお読みのうえ、もう一度お調べください。  
それでも異常があるときは、お買い上げの販売店、または最寄りの修理品お持ち込み窓口へ本機をご持参ください。

### ● 製品の状態は詳しく

修理をご依頼いただくときは、製品名、モデル名などとおあわせて、故障の状態をできるだけ詳しくお知らせください。

## 修理について

### ◆ 修理に関するお問い合わせ

#### ヤマハ修理ご相談センター



ナビダイヤル(全国共通番号)

0570-012-808

※固定電話は、全国市内通話料金でご利用いただけます。  
通話料金は音声案内で確認できます。

上記番号でつながらない場合は

TEL 053-460-4830 へおかけください。

受付 月曜日～金曜日 10:00～17:00

(土曜、日曜、祝日およびセンター指定の休日を除く)

FAX 東日本(北海道/東北/関東/甲信越/東海)

03-5762-2125

西日本(北陸/近畿/中国/四国/九州/沖縄)

06-6649-9340

### ◆ 修理品お持ち込み窓口

受付 月曜日～金曜日 10:00～17:00

(土曜、日曜、祝日およびセンター指定の休日を除く)

\*お電話は、ヤマハ修理ご相談センターでお受けします。

### 東日本サービスセンター

〒143-0006 東京都大田区平和島2丁目1-1

京浜トラックターミナル内14号棟A-5F

FAX 03-5762-2125

### 西日本サービスセンター

〒556-0011 大阪市浪速区難波中1丁目13-17

ナンバ辻本ニッセイビル7F

FAX 06-6649-9340

\*名称、住所、電話番号、営業時間などは変更になる場合があります。

## ◆キーボードの仕様や取り扱いに関するお問い合わせ

ご購入の特約店または下記ヤマハお客様コミュニケーションセンターへお問い合わせください。

### お客様コミュニケーションセンター 電子ピアノ・キーボードご相談窓口



ナビダイヤル(全国共通番号)

**0570-006-808**

※固定電話は、全国市内通話料金でご利用いただけます。  
通話料金は音声案内で確認できます。

上記番号でつながらない場合は **TEL 053-460-5272** へおかけください。

受付： 月曜日～金曜日 10:00～17:00

(土曜、日曜、祝日およびセンター指定の休日を除く)

<http://jp.yamaha.com/support/>

### ◆ウェブサイトのご案内

ヤマハ株式会社のホームページ

<https://jp.yamaha.com/>

ヤマハ エレクトーン・キーボード

<https://jp.yamaha.com/kbd/>

ヤマハ サポート・お問い合わせ

<https://jp.yamaha.com/support/>

ヤマハミュージックデータショップ

<https://yamhamusicdata.jp/>

## ヤマハ株式会社

〒430-8650 静岡県浜松市中区中沢町 10-1

\* 都合により、住所、電話番号、名称、営業時間などが変更になる場合がございますので、あらかじめご了承ください。

Manual Development Group  
© 2018 Yamaha Corporation  
2018年7月発行 MWES\*.\*- \*\*A0

VAF5670